

PTA会報

No.46 2007.3

# 嵩山



松江東高

---

## 目次

PTA副会長挨拶	1
教頭挨拶	2
「未来へ」三年生・三年学年会	4
全国高等学校PTA連合会大会	13
2006年度	
AFS短期アセアンプログラム留学生	16
新任教職員自己紹介	18
部活動報告	19
PTA会務報告	25
補習科案内	27
編集後記	28

---





## 夢と希望に向かつて

PTA副会長 三 島 猛

みなさん、こんにちは。

私が、東高のPTA副会長になってから、早くも2年が経とうとしています。最近、教育問題が浮上しています。ゆとり教育を目的に、学校週5日制が、1992年9月から段階的にスタートし、2002年4月に完全実施されました。その結果授業時間が減って学力が低下しました。国は、将来の週5日制を見直し、かつ授業時間を10%増にしようとしています。理想と現実の違いがこういう問題を引き起こさせたのではないかと思います。

私が、PTA副会長として学校教育に関わるようになってから、数々の教育問題が浮上しました。その中でも、私が特に気になったのは、未履修科目と通学区域の問題です。

まずは、本年度十月頃に、全国の普通高校で未履修科目の不足時間の問題が発覚し、大問題になりました。東高は、理数科の3年生と2年生が係わりました。3年生は、受験に負担が掛からないように、最小限の補習で済むように配

慮していただきました。2年生は本年度の授業

に支障が出ないよう、2年生のうちに不足の授業をしていただきました。この様な問題が起きたのは、最近の少子化で生徒の減少とか、ゆとり教育で授業の時間が減少しても、より多くの生徒を良い大学に入学させようと、学校側も良いと思っただけでやられたと思いますが、文部科学省で決められた授業をやめるということは、社会のルールを守らないことになるのではないかと思います。生徒たちに、社会のルールを守るといふ事を教える事も一つの授業だと私は思います。

もうひとつの問題は、市内の普通高校の通学区域の事です。現在、各高等学校の生徒数が減少しています。区域に決まりをなくし自由に学校を選択するか、今まで通り区域の制限をし、同じにするかということです。今のままだと、橋南から通学している生徒達の親から、通学するには余りにも交通手段がなく、かつ遠くの普通高校より近くの普通高校に通学させたいとの

声があがっています。それが現実になり、橋南の生徒がいなくなると、最低1クラスは無くなり、東高の存続が危ぶまれます。また通学区域を自由にする北高、南高に集中して東高の生徒数が減る恐れがあります。東高存続の為には他校には無い特色を持った東高でなければいけないと思います。

進学校ゆえに、勉強は大切です。文部平同と言言葉が有る様に部活動にも力を入れて、全国を目指して頑張つて欲しいものです。来年度には、全国高総文祭しまね07(7月29日～8月2日)が開催されます。松江を中心に島根県内各地で行われます。3年前には島根県を中心にインターハイが行われ、県内の高校生を中心として一丸となって大会を成功させました。高文祭も、高校生が一丸となって大会を盛り上げてください。東高の文化部も参加されるので、練習の成果を存分に発揮して頑張つて頂きたいです。

東高は県でも有数な進学校です。そして生徒諸君は選ばれて東高に入学されました。これらの日本を背負っていくあなたたちですので、自分らしく生きていくためには、一步一步確実に人生という階段を登って行って欲しいものです。



## 卒業生に贈る

教頭 梅瀬龍司

1994年、イチロー選手が年間最多安打210本を記録した年の新聞記事を今でも覚えている。「従来の打撃理論と異なる振り子打法」という内容である。アメリカから日本に伝わった野球理論によれば、キャッチャーよりの軸足に乗せた重心はできるだけ動かさず、下半身を安定させるのが打撃の基本である。ところが左打者のイチロー選手の場合、初め重心はキャッチャーよりの左足に乗っているが、ピッチャーが球を投げると重心を右足に移し、それを軸足として鋭いバッティングをする。この打法は、体が小さいイチロー選手に鋭い打球を打たせるために考え出されたもので、小学校のときにはほとんど完成していたそつである。

### 1、夢

イチロー選手は小学校六年生のとき「夢」という作文を書いている。「僕の夢は、一流のプロ野球選手になることです」で始まるこの文章は、「なりたい」という願望を表したもので

ない。3歳から練習を始め、友達と遊ぶ時間も制限し「はげしい練習」をやってきた自信が、すでにこの時点で確信に変わっている。中学校での生活、高校選びもこの夢の実現のために行われている。小学校時代に、ともに練習をした父親が、当手を振り返った話の中で「私たちにとって野球は目的をもった遊びでした。もしあれが練習だったら、イチローは途中でやめていたと思います」と述べている。押しつけられるのを嫌うイチロー選手の性格を理解し行った練習が、独自のバッティングフォームを作り上げていくことになる。

### 2、出会い

僕は仰木監督によって生き返らせてもらったと思っています。監督はたとえ数試合、安打が出なくても根気よく使ってくれました。その監督に感謝するためにもいい成績を残したかった。

イチロー選手は「人の出会い」に恵まれている。父親の指導を始め、愛工大名電高の中村監督からは「一流選手と同時に、よき社会人たれ」の人間教育をしっかりと受けている。1992年、オリックスにドラフト4位で指名され入団した。入団した1年目、2年目は二軍では活躍できるが、一軍へ上がるたびに、そのときの首脳陣が理想とする打撃理論と大きな食い違いがあり、フォームを崩されて二軍に落とされている。そのたびに、若者の伸びやかさを大切に扱う二軍の河村打撃コーチに、押し付けでない効果的なアドバイスを受けている。

そしてプロ3年目、監督が仰木監督、一軍打撃コーチが新井コーチとなり、「納得できる」指導を受け、周囲の支えにより、天賦の才能を大きく開花することになる。

### 3、基本と努力

「いま小さなことを多く重ねることが、とてもないところに行く、ただ一つの道なんだというふうに感じています。」

「僕を天才と言いますが、僕自身はそうは思いません。毎日血の滲むような練習を繰り返してきたから、いまの僕があると思っています。僕は天才ではありません。」

世阿弥の能の教えをもとにした、「守・破・

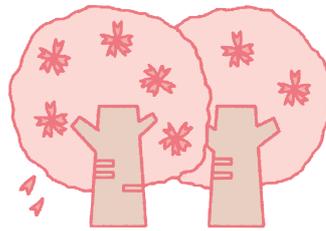
「離」という物事を習得する上での段階を表す言葉がある。まず「守」とは、正確かつ忠実に基本を身に付けること。次に「破」とは、身に付けた基本の上に洗練を重ね、自己の個性を創造すること。そして「離」とは、さらに前進させ、自ら新しい独創性を確立することである。イチロー選手は、従来の打撃理論とは異なる独創的な打法を身に付けたが、常に「基本は大切にしたい」、そこから外れないように「心掛けている。徹底的に基礎を鍛え、基本を覚えてこそ、そこから本物の個性が生まれる。」

イチロー選手は「謙虚に」「誠実に」「そして「頑固に」この生き方を貫いている。

夢を抱く、人との出会い、基礎・基本、努力、これらは誰にも、また何を行うにも大切なことである。

卒業生諸君が定年退職を迎える2050年頃、日本の人口は9千万人になると予測される。現在の総人口が約1億3千万人だから、かつて日本人が経験したことがない、大きくダウンサイズして行く社会を生きて行かなければならない。ここでは過去の理論がどれほど役に立つだろう。それよりは根本的な発想の転換、柔軟な思考力が必要になってくると思われる。どうか基礎・基本を大切に、その上に成り立つ独創的なアイデアで、変化して行く世の中の先頭に立って

生きてもらいたい。自主選択、自己責任という教育環境の中で自主性を身に付けた諸君には、それができる。



# テーマ「未来へ」……三年生・三年学年会

## 三年生

### 「思い出」

門脇久美

私は東高22期、33Rの一員になってとても幸せでした。確かに部活で疲れきった後に予習・復習、課題を熟す事はとても辛かったけれど、楽しい良い思い出も三年間でたくさん出来ました。その中で特に私が一番思い出に残っているのは東雲祭です。「優勝」という一つの目標に向かってクラスが一致団結し、練習をしたあの時間は本当に充実していて今でも忘れられません。また、その練習の中で普段では見られない友達の違いの一面を見ることができ、仲の良さを深めることも出来ました。

東雲祭が終わってからは、受験生として勉強に励む人たちが増えていきました。そこでも分からない問題をみんなで考え、教え合い、乗り越えようとする33Rの良いところが見え33Rで良かったな、とまた何回も思いました。

このようにとても良いクラスなので、このクラスが終わってしまうことにすごく寂しさを感じます。卒業すればみんなバラバラになってしまうけれど、33Rでつくり上げた良い思い出をみんな忘れないで欲しいです。そしていつかまたみんなに会えたら嬉しいです。

最後に、33Rのみんな本当にありがとう。

### 三年間を振り返って

竹内智史

東高に入学して三年が経とうとしています。入学当初は中学校の時と違い先生方の指導が厳しく、勉強の量も多くなり、その他にも様々な不安で一杯でした。ですが違う出身中学校の人とも徐々に仲良くなることができ、不安もなくなり、ここまで楽しくすごすことができました。

私は四月から警察学校への入学が決まりました。警察学校に入校してからも、東高に入学したときと同様に不安もたくさん生まれると思いますが、何事にも前向きに取り組んでいきたい

と思っています。

三年生、二年生、一年生 —— 先生方本

当にありがとうございました。お世話になった皆さんや松江東高校に、警察官として何か貢献できるように精一杯努力していこうと思います。

### 感謝

田中梨絵

高校三年間はとても短かったように感じます。けど、この三年間はとても充実していて、内容の濃いものでした。

私が高校生活の中で実感したことは、多くの方々に支えられていたということです。特に部活動がそうでした。顧問の先生方はもちろん、他校の先生や、部活を通して知り合った人たちにお世話になりました。人数が少なかったのに、他校に練習しに行ったりしました。ライバル校なのに、一緒に頑張ろうと言って快く受け入れてくださいました。そして自分の生徒のようにしてもらいました。一般の方と大会に出させて

もらったり、普段できないことをたくさん経験させてもらいました。

このように良い環境で部活をすることができたので、総体まで頑張れたんだと思います。周りの人への感謝の気持ちを忘れず、これから自分の目標に向かって頑張りたいと思います。支えてくれたみなさん、ありがとうございます。

## 「未来」

仲佐友貴

私は東校の三年間でたくさんを学びました。なかでも特に印象深くに残っていることは、Tryという言葉です。勉強や他の活動に目標を持って臨み継続することが簡単そうでは実は難しいということがわかりました。振り返ってみれば、難しい時に先生や友達、両親の励ましの言葉などの支えがあったからこそ、乗り越えられたのだと思います。私を支えてくださったすべての人に感謝したいと思います。よい人間関係を持つことは何にも変えがたい宝物だと思っています。私の未来にもそうした周囲の人からの支えと自分自身の払う努力によって創り上げていくことができるのだと確信しています。私は他の人のために役に立つ人になりたいと思います。今、国際関係の問題解決に武力が

用いられています。しかし、そうしたことが続く限り平和はこないと思います。それで私個人として、国籍や文化が違っていても、互いに本当に理解し合えるコミュニケーション能力を身に付けたいと思います。高校生活から学べたことを未来への糧にして、失敗を恐れることなく自分の目標に向かってTryし続けたいです。

## 三年間を過ごして

福田加奈

私は卒業するにあたって、三年間を振り返ってみると色々な事がありました。この東高校で過ごした三年間は、自分をとても成長させてくれたと感じています。一番私の中で変わったのは、考え方だと思います。一年の時は、勉強がとても嫌で、課題も写したり、どうにか勉強をしないようにしていました。しかし、今は、もつといるるな事を学びたいと思うようになった気がします。

また、私は、今が楽しければそれでいいという自己中心的な考えがあり、初対面の人から外見で悪印象を与え、誤解されやすい事が多かったのです。しかし、今は、「今が楽しければいい」という考え方はだめだ」とここに書くことができるぐらい考えは変わりました。

私達はこれから卒業して、いろいろな人達に出会います。そして、たとえ他人の意見や考えが自分の考えとまったく違っていたとしても聞いて考えてみる事が大切で、それが自分を成長させてくれると思います。そして、今、本当に東高で学んで良かったと思います。

## 子供から大人へ

山崎志帆

いつの間にか高校生活三年間が過ぎ去り、私も十八歳になってしまいました。十八歳というと、様々な制限がなくなる年齢です。私はもう運転免許が取得でき、パチンコもできるようです。正直、信じられません。それに、あと一年と数ヶ月で二十歳です。人事にしか聞かえないのは私だけでしょうか？

そんな私も、この春から県外の大学へ進学します。一人暮らしをすることになり、自分とは自分でしなければいけません。新しい環境への期待はもちろんです。一人です。生活していく不安も大きいです。

今まで親と一緒に生活してきて、何か起こればいつも守られる側でした。自分はまだ子供なんだと思いつつ今までのことしてきましたが、そろそろ、そろもいかなくなるようです。自分

の身に近づいてきている「自立」という言葉を改めてかみしめる今日この頃です。私も大きくなったなあ…。

今までお世話になった方々へ

ありがとうございます

これからもお世話になる方々へ

これからもよろしく

## 三年学年会

### 卒業にそえて

31 R 正担任 田 中正 樹

31 Rの皆さん、ご卒業おめでとございます。

君たちはSSクラス二期生として本当に多忙な高校生活を過ごしてきましたね。私自身、多忙な一年を覚悟し、一つひとつ丁寧にやっていたという思いから、教室の前に「先を見てきさんとやり、つなぐ」という言葉を書き続けてきました。この言葉はこの後の君たちの生活に対してもそのまま送りたいと思います。卒業後は、今まで以上に自立が求められます。先だけではなくまわりも見て、周囲への感謝やいたわりの気持ちを大切にし、歩んでほしく思います。

「一日生きることが一歩進むことでありたい」これは湯川秀樹が残した言葉ですが、自分の目

標に向かい、毎日毎日を丁寧に歩んでいくことを表したものです。千里の道も一歩からと言いますが、自分を大切にし、謙虚な気持ちで一日を前向きに歩んでいってください。健闘を祈ります。

### 贈る言葉

31 R 副担任 岩 崎 英 子

22期の皆さん、ご卒業おめでとございます。

皆さんは、特に、パワーと可能性を秘めた集団でした。そして、31 Rの皆さん、この一年間常に側にあつて、皆さんの目標に向かって努力する真摯な姿と周囲に向けるやさしく温かい心に接することができたのは、大きな喜びでした。

そんな皆さんの門出にあたって、今私が人生を生きる上で大切だと考えていることを、贈りたいと思います。

- 1、心と体の健康
- 2、御両親をはじめとする御家族
- 3、知音ともいうべき友人
- 4、郷土と母国日本
- 5、生涯を賭けるに足る仕事
- 6、人間としての誇り

心豊かな日々の積み重ねであることを、願ってやみません。

### 卒業にむけて

32 R 正担任 柳 浦 正 夫

二十二期生の皆さん、卒業おめでとございます。皆さんの人生の歩みの中で、本格的に自分の選んだ道を歩み始めるときがやってきました。低成長時代をむかえ、世の中のあらゆるところで様々な見直しが行われています。そのような中では、夢を持ちにくい時代といえるかもしれませんが、しかし、このような時代だからこそ、偶然に得られるものでなく、自ら追い求め、努力して得られるものを持ち続けていること、またそれを実現するために努力することが大切だと思います。それぞれの歩みは異なるわけですが、人生の「正解」は一つではありません。一日一日を大切にすることによって、自分なりの価値観、生き方が見つかるはずで、人と人の出会いを大切に、前向きに生きてください。

### 卒業生の皆様へ

32 R 副担任 清 井 高 志

以前、「人間万事塞翁が馬」の故事を32 Rで話をしました。その時に共感してくれた生徒が多く、この機会に他クラスの卒業生の皆にも伝

えたほうがよいと思ひ紹介いたします。

「人間万事塞翁が馬」とは、長い人生で何が禍となり福となるのか、わからないという意味です。私も、齢50年を過ぎ教師生活30年を過ぎ、これまでたくさんの人と出会い、そして卒業生を見てきました。私の同級生の中にも、高校時代に寡黙だった人が饒舌になり、劣等感の塊で卑屈になっていた友人が、別人のように明るく闊達になっていきます。また、典型的な文型方の人が新薬を開発する仕事に携わっています。そして、卒業生では、苦勞して難関大学の工学部に進学したのに、今は畑違いのジャーナリストとして活躍していますし、ある卒業生は、高校を卒業して郵便局員となりバイクで郵便を配達中、好きな絵のことを考えていて事故を起こし、自分はやっぱり絵のことが忘れられないと、その後、受験勉強をして東京芸術大学を目指し見事合格しました。その他、事業に失敗して挫折の中から立ち上がり日本を代表する社長になった人等、人の様々な人生を見てきました。

このことから、君たちは今、受験に失敗したとか、挫折を味わっていても、また、一方で得意になっけていても、これから先の長い人生で、現在の状況が、福となるか禍となるかわかりません。ただ、私は人の道からははずれないよう努力していれば福がやってくるチャンスがたくさん廻ってくると思っています。

さあ、卒業生の皆さん元氣を出して希望をもつて前に進みましょう。

人間万事塞翁が馬（中国の古い書物「淮南子」〈えなんじ〉）に書かれている）について

中国の北のほうの国境に城塞があり、その近くに老人が住んでいました。その老人の馬が北の胡の国のほうに逃げていってしまったので、近所の人がやってきて老人を慰めました。しかし、その馬はやがて胡の国の良い馬をたくさん連れて帰ってきたので、近所の人がお祝いにきました。しばらくすると、老人の息子がその馬から落ちて足の骨を折ってしまいました。そして、一年がたつたころ胡の人たちが城塞に攻め入ってきて城塞近くの若者は戦いに行き、多くのものが死んでしまいました。しかし、老人の息子は足を負傷していたので戦いに行かずに済み、無事でした。このことから、禍福というものはまったく予測がつかないという故事

## 『漸近線 '07』

33 R 正担任 浅田 一裕

ここ数ヶ月間、君たちの姿を目にし、何度となく羨ましく感じたものです。勿論、私などには既に過去のものとなってしまう「若さ」といったものに対してということもあります。しかしそれよりも、自分自身の将来に対して展望

を持ち、それを実現するために「懸命」になっている姿に対してのものでした。君たちの時代にもう一度戻れるものなら...という思いにさせられたほどです。

これから君たちは、それぞれの方向に歩み始めることになるわけですが、新しいものをどんな自分の中に吸収して欲しいと思えます。時には、今までの君たちの考え方といったものが全く通用しないというような場面にも出くわすことでしょう。ものの見方、考え方は、少なからず、君たちを取り巻く環境により左右されてしまっているのですから。そんな時はまず、異なる考え方を受け入れる寛容さを持つてください。多くの人と出会うことにより、自分がそれまで持っていた物差しでは測れない価値判断というものがあることが、実感として伝わってくると思います。決して保守的になることなく、まずそれを認め、自分自身の中に多くの物差しを持つてください。そして、疑問や矛盾には、真正面から立ち向かって欲しいと思います。

今日卒業していく君たちも、この三年間を思い起こすとき、いろいろな想いが頭の中をよぎることでしょう。目的を達成できた者も、そうでなかった者も、それぞれ三年間の自分自身の全てに対し納得している者は、そう多くはないと思います。しかし、今は新しいスタートを切

るときです。若き故の失敗もこれからあるでしょうが、君たちの持つ「可能性」は無限です。限りある人生だから、それを無駄にすることのない姿勢で漸進し続けて欲しいと思います。

「日はまた昇る」

33 R 副担任 青 木 康 能

私は、今年で39年間生きてきたことになる。

幼い頃の記憶は薄れつつあるが、「あの時、ああしておけばよかった」と思うことがたくさんある。つまり「後悔の念」というやつだ。しかし、「ああしておけばよかった」という選択を過去に行ったとして、「後悔の念」が生まれなかっただろうか。おそらく、また別の「ああしておけばよかった」という思いが生まれたに違いない。

結局、過去のその時の結果は、様々な妥協があるにせよ、自分の最善を尽くした結果であり、それが、成功であっても失敗であっても、素直に受け入れる手段しか残っていない。

高校時代の「ああしておけばよかった」という思いは、きつと君達の未来へと繋がる信じている。「後悔する人生を送る」ではなく、「人生は後悔の連続である」という言葉を最後に贈りたい。

思う存分後悔をしてほしい、今も、未来ももちろん、くよくよせずに前向きにな！

「どの道歩いていこうと、君は君のその人生を受け入れて歩くしかない、最後には笑えるように」浜田省吾「日はまた昇る」より  
卒業、本当におめでとう！また会おう！

### 成功をおさめる資質

34 R 正担任 永 瀬 嘉 之

今年一年間学年集会で紹介してきた本からのことばを最後に送ります。

成功をおさめる10個の資質

- 1、いっしょにして楽しくなるほどの情熱
- 2、ポジティブな心の姿勢
- 3、自分を信じる気持ち
- 4、自分の強みを生かそうとする気構え
- 5、卓越性を追求する向上心
- 6、困難を乗り越えて業績をおさめる粘り強さ
- 7、自分を甘やかさずに厳しく自分を律する態度
- 8、周囲の反対にもめげずに願望を実現する精神力
- 9、あらゆる失敗にはそれと同じだけの恩恵が隠されていると考える楽天主義

10、苦しいことがあっても目標を達成しようという決意

自分はこの資質を備えているだろうか？

答えがノーであっても心配する必要はない。その資質を身につけようこれから努力すればいいのだ。

三年間君たちを見てきました。本当にみんな成長したと思います。しかし、更なる成長と人生の成功をめざして、これらの資質の獲得にチャレンジしてください。

### 心をつなぐ「34 R 学級日誌」

34 R 副担任 福 井 結 子

34 R のみなさん卒業おめでとうございます。みなさんとはたった一年間だけのおつきあいでしたが、多くの感動をもらい、いつまでも思い出に残るクラスとなりました。

最も印象に残っているのは、「学級日誌」です。四月から『変・粘・成』とテーマが移っていきましました。そのテーマにあわせて、ある時は部活に対する思い、試合に対する意気込みや後輩に託す思い、また自分が去った後の部に寄せる思いを書いていました。ある時は勉強や受

験に対する思い、勉強を継続していくために、自分を律していくことの厳しさや受験への焦り、後悔の気持ちやページいっぱい書いてしまった。どのページをめくっても、一人ひとりが真剣に自分と向き合い、何とか答えを出そうとしている懸命さが表れていました。この日誌の中にはみなさんが高校生としてひたむきに生きていく様やテーマと共に次第に変化、成長をしていく様がよく表れています。

みなさん自身も友達の切実な思いに触れて、お互いに刺激を受けていったことと思います。この日誌は34Rのみんなをつなぐ「心のノート」でもあったと思います。

部活や勉強に真摯に取り組むと共に、高校生活のその時、その時、問題意識をもって過ごしてきたみなさんです。将来は、各専門分野でリーダーシップを発揮され、有意義な人生を送っていかれるであろうと信じています。そして、同窓会で永瀬先生とこの日誌を囲み、大いに話に花を咲かせられることと思います。

皆さんのご多幸をお祈りいたします。

## 「未来と現在」

35 R 正担任 和田 伸 一

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうござい

ます。みなさんと一緒に三年間を過ごすことができたことをとてもうれしく思います。

高校を卒業して十数年になります。年々、様々な場面で出会う、人の生き方やそうした人の言葉に感動したり、共感することが多くなりました。おそらくそれは、その時の自分自身と重ねあわせているからであり、楽しいことも辛いことも含めて多様な経験をしてきたからだと思います。現在の私が共感を覚えるのは、未来の目標に向かって、自分の限界を決めずにひたすらに努力をしていく人の生き方であり、そうした人の言葉です。自分自身もいつの間にか限界を決めてしまっていないだろうか。そう自分に問いかけるようにしています。

卒業していくみなさんも、これから多くの経験をされると思います。未来を見つめながらも、その時々を精一杯、しっかりと歩んで行って欲しい。みなさんのご活躍を祈っています。

## おいしいラーメンの作り方

35 R 副担任 岩 町 暁

何時だったかグルメ番組で「インスタントラーメンはラーメンじゃない」などとレポーターがほざいておったが、それはとんでもない誤解である。私は現在でもおいしくインスタントラー

メンをいただいている。それでは卒業するあなたたちにおいしいラーメンの作り方を紹介しよう。

さて、選ぶラーメンであるが、やはり袋麺にしたい。カップ麺は邪道である。何故かと言えばカップ麺作りは調理とは言えないからである。また、インスタントラーメンに野菜を炒めて入れるとか、茹でたまやしを入れるとか、煮卵を入れるとかはつきり言ってこれもまた邪道である。やはりインスタントラーメンに敬意を払ってそのままをいただきたい。一番肝心なのは茹で時間である。この茹で時間でしくじると悲しい結末となる。慎重に鍋の中を見つめて欲しい。少し堅めで火を止めて、それをあらかじめ粉末スープを入れてある器に注ぐ。もちろん、器はあらかじめ温めておきたい。いれおわったら、箸でそこを洗うように麺で粉末スープを溶かし、できあがりである。この間、約二分。その後至福の時を迎えるのである。

学生生活で困ったとき、これを試してみてください。また、会おう。元気で!!

## 卒業おめでとう

36 R 正担任 建 部 耕

36 Rの皆さん卒業おめでとう。ずいぶん長い

時間を共に過ごしてきたような気がしますが、  
たった一年も経っていないのですね。

四月の段階では卒業後何をしていいかわからない人がたくさんいましたが、今はそれぞれが目標を持って新たなスタートに臨んでいるように見えます。皆さんのような年代の人は本当に成長が早いというか、この年になると自分が変わっていくということが本当に少なくなっていくので本当にびっくりします。

自分の学生時代を思い出して、アドバイスを（ほとんどは自分にはできなかったことですが）

長期計画（二年後・四年後・十年後）  
をできるだけ早くたてる。

長期計画に向かってブレのない勉強を。

本を読む。

映画を観る。

旅をする。

たくさん恋をする。

五月の連休、夏休みには東高に顔を出してくださいね。

## 卒業を前に思うこと

36 R 副担任 林 由実子

私事で恐縮だが、約三ヵ月後に出産する予定である。年がいつてからの初産ということ心配や不安はつきないのだが、腹をポコポコ蹴っている新しい生命がこの世に誕生することを心待ちにしている。名前をどうしようとか、こんな子になってほしいとか考えたりもするが、まずは健康に生まれてくれさえすればと祈る気持ちにはなる切実で、どの親でも同じなんだろうなと思う。

卒業生の皆さん、あなた方が、皆の愛に包まれて、健康で、そして他人に迷惑をかけずに十八年間過ごせたことは奇跡に近いくらいすごいことだと思う。自分の努力ももちろんだが、周囲の支えなくしてはありえなかったことだもの。だからここから先は、感謝の気持ちを周りに少しずつ返していかなくてはね。何もお礼の気持ちを口にしようとかボランティアをしようとかいうのではない。ただ、これから先も健康で、向上心をもって一日一日を過ごしてほしい。そして、人間が生きるとはどういうことか、どんな自分になりたいかちょっとまじめに考える一瞬を持つてほしい。心が清涼な今のうちに、そんなに長く続かないとしても、とにかく考える。

人間の丈がちょっと伸びる時間を、若いうちに頑張つて持ってくれたらどんなに嬉しいかと、教師としてブレ母として願うのである。卒業おめでとう。

## 「未来へ」

37 R 正担任 田中 伸洋

平成十六年四月六日、卒業生の皆さんが本校に入学されたその日、私は、長女の誕生に立ち会っていました。そして、皆さんが二年生になった五月、長男を授かりました。二人とも体が弱く、特に長男は、生後二週間で大きな手術を無事に乗り越えてくれました。今思えば、そうしたわが子の成長の歩みが、そのまま皆さんの本校での歩みとだぶって見えてきます。笑って、泣いて、怒って、悩んで、今も一つひとつの場面が鮮明に思い起こされます。皆さんは、その中で本当に大きく成長してくれたと思います。本当にありがとうございます。そして、先輩である保護者の皆様へ、今日まで頼りないと思われることも多々あったと思いますが、いつも暖かく見守っていただいていたありがとうございます。ここまで頑張ることはできませんでした。

最後になりましたが、お子様たちの成長は、

私にとって、これからも常にわが子の成長と重  
なっていくます。わが子を見守りながら、いつ  
も応援しています。がんばれ。

“Only try to be better  
than yourself”

37 R 副担任 日比野 充直

島根に来て、はや十年が経とうとしている。  
長い受験生活を終え、ちょっぴり長めの大学生  
活を送り、今は社会人四年生。二十代を島根で  
駆け抜けてきたことになる。

振り返ってみると、節目には様々な事件があっ  
た。挙げればきりがないので、君達に馴染みの  
あるものだけに留めておく。幕開けは、「入試  
直前勉強道具一式盗難事件(97)」だ。「臍胡麻  
危機一髪事件(01)」は今だから笑える代物。泣  
きつ面に蜂とはまさにこのこと。「総体引退試合  
直後恋愛戦力外通告(05)」。(ちなみに今年は  
「椎間板宣告(06)」を頂いた。)

広島時代、島根時代と紆余曲折の人生だった。  
何度も壁にぶつかり、腕き苦しんだ。しかし、  
人との繋がりを改めて考えさせてくれる瞬間が、  
そこにあった。自分自身を真剣に見つめ直すこ  
とが出来た瞬間もそこにあった。苦しい時こそ  
自分を高める好機なのだ。

君達は、高校卒業という大きな節目を迎える。  
先の舞台は個々で違つ。そこで出会う人々も様々  
だ。不安や期待が入り交じっていることだろう。  
だからこそ今、過去を振り返り、現在の自分を  
じっくり見つめ、未来の自分を想像するのだ。  
さあ巣立ちの時。ただ己を越え続けることを考  
えて、羽ばたけ二十二期生！

未来へ

3年学年付 鷲野 亜紀

三年生の皆さん、ご卒業、本当におめでとう  
ございます。

今日まで皆さんを大事に育て、守ってきてく  
ださった方々がおられることを、どんな時でも  
忘れずに、たった一度の人生を大切に、そして  
勇気と感謝の気持ちを持って生きていってほし  
いと思います。

これから皆さんが切り拓いていく未来を祝福  
し、最後に私の好きな詩を贈りたいと思います。



## 虹

私の心は躍る、大空に  
虹がかかるのを見たとき。  
幼い頃もそうだった、  
大人になった今もそうなのだ、  
年老いたときでもそうありたい、  
でなければ、生きている意味はない！  
子供は大人の父親なのだ。  
願わくば、私のこれからの一日一日が、  
自然への畏敬の念によって貴かれんことを！

## The Rainbow

My heart leaps up when I behold  
A rainbow in the sky:  
So was it when my life began,  
So is it now I am a man,  
So be it when I shall grow old  
Or let me die!  
The Child is father of the Man:  
And I could wish my days to be  
Bound each to each by natural piety.

(平井正穂：編：『イギリス名詩選』岩波文庫より)

ご活躍を心よりお祈りしています。  
幸せで、充実した素晴らしい人生を歩まれま  
すように。

## 感謝

3年学年付 小林 明子

二十二期生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。私も三年前、皆さんと一緒にこの学校に入学してきたと思っていました。もう卒業なんです。入学式で、皆さんのきらきらと輝いたすばらしい眼差しを今でもはつきりと覚えています。

そんな皆さんが、この松江東高校を巣立ち、自分で選んだ道をまたあのすばらしい眼差しで進んでいけるのかと思うとわくわくしてきませう。

「失敗したっていいじゃない。またやれば。」  
これからは、自分自身でやるのが格段増えませうが、今まで吸収したいろいろな力を試すべく、チャレンジ精神で邁進していつてほしいと思ひます。その際、一つだけ忘れてほしくないのは、感謝の気持ちです。今まで、そしてこれからもたくさんの方々の直接的・間接的な支援があつて生活していただけるのです。感謝の気持ちで素直に伝える・伝えることができる人間でいてください。身近な人ほど、はつきりと言葉で伝えないうけません。一言でいいんです。

「ありがとう。」 Good Luck

## 「失敗すること」

3年学年付 林 慶明

これから君たちは、学校から考えると、とてもなく広い世界で生きていくことになる。そうなる、様々なことが変わつてくる。例えば、行動範囲も広がるし、関わる人も多くなる。そして何よりも、指示をしてくれる人間がいなくなる。ということは、自由になる反面、あらゆることに對して自分が責任を持ち、自分の頭で考へて行動しなければならなくなる。だから、この卒業を、「これからは、自分で考へなければならぬんだ」という自覚を持つ良い機会にしてもらいたい。いきなりは難しいと思ひますが、自覚を持つことが第一歩だと思ひます。

また、自分の行動に責任を持たなければならぬが、失敗することを恐れて欲しくない。失敗しない人などこの世に存在しない。だから、こう考へる。一つの失敗から沢山の事を学べる、こと、学ぼうとすることが大切だ。一人ひとりには、別々の道があるけど、大切なことはどの道においても変わらない。一言だけ言つておきたい。『沢山失敗しちゃえよ。そこからもつと沢山学べばいいじゃん。』

常に学び、自分で未来を切り拓け！

## 夢

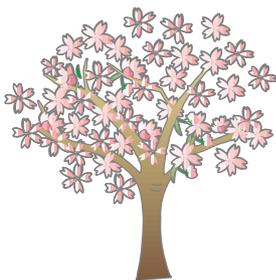
3年学年付 福原 亜紀子

22期生のみなさんご卒業おめでとうございませう。  
夢は何ですか？今、皆さんは就職、進学など自分の夢に向かつて第一歩を踏み出したところだと思ひます。

夢を叶えるためには努力が大切ですが、その機会に巡り合う必要があります。初めからその機会を得られる人はほとんどいませんし、うまくいくとも限りませう。自分の思ふようにならぬからといって努力をしなければ機会に恵まれても自分の力が出せませう。機会も自分から動かないと出会うことはできません。

夢を叶える機会をつかみ、生かせる力を身につけてください。そして自分の力で夢を叶えて下さい。

皆さんのご活躍をお祈りいたします。



# 全国高等学校PTA連合会大会に参加して

総務主任 清井高志

八月二十四日から二十五日に秋田市「秋田市立体育館」で開催された全国高等学校PTA連合会大会に、佐々木博章会長とともに参加してまいりました。今回の報告につきまして、今大会は、特に期間中において、大会の状況や記念講演の内容をまとめた速報が出されました。私が文章にして報告するよりも、大会の様子が一目でわかる速報が出ましたので、速報記事、写真をもつて報告いたしました。また、記念講演につきましては、速報の記載そのものを掲載いたしました。なお、秋田大会ホームページ (<http://www.akiak-koupren.org>) にて公開されていますので御覧ください。

大会は、秋田県高等学校PTA連合会会長 船木正博氏の(一)、あいさつ「この夏、秋田で」からはじまりました。あいさつの中で氏は、今回の趣旨とPTA活動の在り方について次のページに述べられています。参考になる部分を抜き出しました。また、文部科学大臣小坂憲次氏の(二)、祝辞では、今回の教育改革と文部科学省の取り組みについて述べられていますので参考となる部分を同様に抜き出しました。御



大会テーマ

## 夢・可能性・次代を拓き共に生きる力



### 未来を拓く若い力と 夢あふれる次代に向けて開幕

第58回全国高等学校PTA連合会大会秋田大会が8月24日、秋田市立体育館と秋田県立正源館を会場に開幕しました。なまはげや年燈まつり、かまくらなどで知られる秋田の地に全国から1万人を超えるPTA関係者が参加。高校生による郷土芸能や民謡、ハンドベル、秋田を彩る四季のVTR映像や年燈会による年燈表演などが大会を華々しく盛り上げました。

開会式では船木正博大会実行委員長が「未来を拓く高校生のために」とし、有難儀を元来した大会にしましょうと開会宣言。藤井久丈全国高等学校PTA連合会会長による祝辞、有村浩子文部科学大臣政務官をはじめとする来賓祝辞に続いて記念講演と全体会が行われ、会場では地域を越えて語り合う姿が見られました。大会はきょう25日まで続けられ、種別別秋田において熱い討論が繰り広げられます。

一読いただきたいと存じます。

(一)「この夏 秋田で」

秋田県高等学校PTA連合会会長

船木正博 氏 より

…… 本大会のメインテーマであります「夢・可能性・次代を拓き共に生きる力」は、子どもたちが夢や可能性を求め、この地の「わか杉」のごとく強くたくましく、「こころ豊かに共生し、真つすぐ伸びてほしいとの願いを込めて制定いたしました。昨今の高校生を取り巻く環境は、社会の激変とともに先行き不透明であり、問題も多岐にわたっております。その現状を把握し、テーマに込められた願いを実現するために、私たちPTAは「今何が出来たのか」、「今何をなすべきなのか」を共に学び、語り合う研究討議の場にしたしたいと思います。会員の皆様がこの大会から多くの成果を持ち帰り、実践していただければ幸いと存じます。……

(二) 祝辞

文部科学大臣(前文部科学大臣)

小坂憲次 氏 より

……さて、高等学校の三年間は、生徒一人ひとりが多様な経験を通じて心身ともに大きく成長し、将来自らの人生を豊かにするために力を蓄える、極めて貴重な時期であります。高等学校

への進学率が九十七パーセントを超え、生徒の能力・適性、興味・関心、進路等が多様化する中、生徒一人ひとりの個性を最大限に伸ばすために、学習の選択幅をできる限り拡大して、多様な特色ある学校づくりを進めていくことが大切です。

このため、文部科学省では、理数教育や英語教育を重点的に行う、スーパーサイエンスハイスクールやスーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクールの指定を進めるとともに、総合学科や単位制高校、中高一貫教育校の設置促

進など、高等学校教育の改革を進めております。

また、子どもたちが勤労観・職業観を身につけ、社会人・職業人として自立することができるよう、小・中・高等学校における一貫したキャリア教育を進めるとともに、地域ぐるみで職場体験やインターンシップに取り組む事業を行っているところでは……

(本校のスーパーサイエンスハイスクールの取り組みには高い評価をいただいているところです。また、本校では進路指導部が中心となりキャリア教育にも積極的に取り組んでいます。)

## 記念講演

# 「一億総中流」時代の後に来るもの

## これからの社会と人間のあり方について

前東京大学総長・学習院大学教授 佐々木 毅 氏

## 1、歴史としての

## 「一億総中流」時代

福沢諭吉の『学問のすすめ』以来、人間が平等の権利を持っている一方で、人間の社会生活におけるさまざまな格差が並存していることは私たちの共通認識です。しかし歴史の中で人類

は格差、特に、経済的な面でのそれを小さくしようと努力した時期がありました。第二次世界大戦から1980年代までの時期がそれに相当します。日本でも1960年代から90年代にかけてその努力と成果が見られました。「一億総中流」という言葉は国民の圧倒的多数が「中」の階層に属すると思つようになったあの時代に作られた言葉です。そこでは経済の成長が

続き、政府が国民生活を保護することができたという時代背景がありました。私の世代はこの時期を生きてきましたが、今や、そうした時代とは相当かけ離れた時代に私たちは生きています。よつです。「二億総中流」の社会は解体し、「下流社会」が日本の中で誕生しているといったことが広く言われるようになりました。人間は自分の生きる時代を選択することができないというのは、いつの時代にあっても一つの残酷な事実です。

## 2、到来しつつある時代とは

われわれの眼前に到来しつつある時代というのは、安定よりも変化と変動を特徴とする時代です。科学技術はわれわれの生活の基盤そのものを変えるまでになってきました。あらゆる組織がこの変化にさらされています。企業から政府もそうです。組織が流動的であれば個々人の生活も変化を免れないこととなります。雇用一つとっても終身雇用といったものが難しくなるのは避けられません。俗にグローバル化と呼ばれる現象はこうした変化が国境を越え、不断に波のように押し寄せてはまた返す状況を指しています。その結果、個々人の命運には大変大きな違いが出てきます。また、人間の帰属意識が



はつきりしなくなり、人間そのものが不安定になり、あるいは再び安定への期待を満たそうとする動きが広がることでしょう。

## 3、人間や社会のあり方はどうなるか、どうするか

現代社会のこの変化の根底には先端的知識があります。現代は知識基盤社会と呼ばれています。大学院教育が普及したのはそのためです。国境を越えた大学の競争も熾烈なものがあります。変化のスピードが激しいということは知識の陳腐化が急速に進むことを意味します。そこで絶えず学び直し、専門的知識の水準を維持していくこと、それによって自らのセールスポイ

ントを増やしていくといった傾向が強まるのは避けられません。組織のために全てのエネルギーを使うような生き方が見直されるのはやむを得ません。他面において、人間は社会的な協力関係なしには生きていけません。しかし、今までの社会的ネットワークに寄生することは出来ませんから、

新たにそれを創造する作業が今まで以上に必要になります。この作業は市民としての活動であり、グローバル化に追いつけ回される経済活動よりもずっと人間の総合力が試されます。そして総合力の高い人間がどれだけの力によってその社会の質が決まってくるか。総合力の決め手の一つは新しい倫理的構想力の涵養です。伝統的な修養型の構想力であるよりは他人との共生可能性について思いを致す構想力です。勿論、高齢化や環境問題など、視野に入れなければならない課題は山積しています。われわれが21世紀にふさわしいシステムを開発・発見することによって他国にとって一つのモデル国になること、これが究極の目標にならなければなりません。

## 2006年度 A F S短期アセアンプログラム留学生

昨年の12月11日から2週間、本校は2名のA F S短期アセアンプログラム留学生の受け入れを行いました。その時の様子を紹介します。

### Sao Vichet Ly 君の連絡帳より

December 11<sup>th</sup> 2006

Today was my first day to go to a Japanese school. The Japanese classes were so wonderful and interesting. My super advisor and my classroom advisers are very friendly and helpful. I think it's great for me to experience a different academic system from that of my country. I really enjoy it!

December 12<sup>th</sup> 2006

English grammar class in Japan and English grammar class in Cambodia is almost the same, and I really enjoy it. Today I had calligraphy class and it's so great. I had never had calligraphy class before. After school, I went to Kendo club and practiced it. It was my first time.



授業風景（書道）



December 15<sup>th</sup> 2006

Today I went to a tea ceremony and I really enjoyed it. It is my first time to go to a tea ceremony. The sweets and the tea were so delicious. I hope go to a tea ceremony one more time.



部活動（茶道）

### Yumni Khairina Ghassani さんの連絡帳より

11<sup>th</sup> December 2006

I feel waku-waku. My classmates are friendly. They made a welcome board for me and I was very surprised. Today, I introduced myself and talked with the girls. However, I don't know how to talk to the boys. They look shy and I can't do anything to solve it. I just smile and say greetings in Japanese, but daijyoubu. I'll try to get to know them tomorrow. Maybe today, they hadn't gotten to know me yet. I'm sure I can be their friend. Doumo arigato gozaimashita for today. Mata ashita!!!

12<sup>th</sup> December 2006

My classmates are very kind. Tomoko-chan helped me learn the names of the classmates and where they are seated so that I can remember them. Ishikura-kun taught me in mathematics class. And Kouya-kun was in the same group with me in Eigo class. As for the boys, I'll try and try again tomorrow because I like to be challenged. Doumo arigatou gozaimashita for today. Mata Ashita!!!

13<sup>th</sup> December 2006

Today was better than yesterday. Why? Hmm....I'm not sure. Today, I was able to be more active and useful. I was very happy today with my classmates because they paid attention to me. Arigatou, tomodachi!! And today, I finally learned why Japanese boys are shy and so silent. "They are just shy, but very curious". I think it is because boys usually eat and play with only boys. This is the same for the girls too. Ja Arigatou for today. Mataashita!!!

14<sup>th</sup> December 2006

I think today was one of my big days. Today, the boys asked me about where I'm going in the 1st period and they remembered me during PE class. I think if I start the conversation first, they will give good responses because I'm trying. I hope they are just shy. I want them to know more about me.

Today, we had lunch time TOGETHER. I'm very glad because they did it for me. Doumo arigatou gozaimashita!!!

And for gathering time, I think it was the best because my friends said "Gambatte ne" Oh...my classmates, I want to be a part of your lives if I can, but there is only one week left. I must go back to Indonesia. I love you all...



Yumni Khairina Ghassani さんのお別れの挨拶より

それは すてきすぎて 忘れられない  
それは 悲しすぎて 思い出にできない  
私たちは いっしょに 歩いて来だけれど  
今 私は 去って行きます

友情は手と目のよう  
もし 手が 壊れたら  
目が泣くでしょう  
もし 目が 泣いたら  
手が涙をぬぐってくれるでしょう

友達よ どうか その白い心で  
私の 黒い過ちを消してください

私からみなさんへのメッセージです。



また一緒に歩く日が来ることを信じています。私はこの学校で毎日みなさんからたくさんのことを学びました。私の人生にとって何を得るかではなく、誰を得るかということが大切であることを知りました。その誰かの一人になってくれてありがとう。

毎日 わたしは 「また明日」と言っていたけれど、今日は嫌でも「さよなら」と言わなければいけないのです。私たちの友情は、いつまでも、いつまでも、心の中にあります。

皆さんのことが大好きです。

# 新任教職員

# 自己紹介



数学 33 R 正担

弓道

浅田 一裕

遡ること二十八年前の大学卒業後、神奈川県にあつた新設二年目の公立高校で私の教員生活は始まりました。一学年四クラスの全八クラス、校舎もプレハブであつたのが、次の学校に転勤する頃には、各学年十二クラスの全三十六クラスの大規模校となり、僅か四年の勤務の間に小規模校から大規模校までの体験を一つの学校で経験するというスタートでした。どの職業でもそつだと思ひますが、初任地での様々な経験から得たものをエネルギー源としてこれまでやってきたように思ひます。

その後、次に異動した高校での勤務を経て、高校卒業後十一年ぶりに帰郷し、間もなくその二十一年目が終わろうとして居るところです。十代の終わりから二十代の終わりまでの思えば多感な時期を県外で暮らしていたため、生まれ故郷とは異なるものの、帰郷後の十年間は生活面にも仕事に於いても、戸惑うことばかりであつたのがつい昨日までのような心持ちです。

そして初任から七校目にあたる本校へは、全校生徒が八十名に満たない大社高校佐田分校から赴任してきました。久しぶりに多くの生徒や先生方のいる学校での勤務であることに加え、三年担任という大役を任せられ、力不足ながらも周りの方々のおかげで何とかここまで切り抜けてくることができたように思ひます。生徒諸君の卒業まで残り僅かとなりましたが、それぞれの希望が実現出来るよう、微力ながらもできる限りの援助をしていこうと思ひています。経験年数からは、多くの方の場合はベテランと呼ばれる域に達しているはずですが、私は経験不足で、まだまだ未熟者です。これから精一杯頑張っていこうと思ひますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



新任教職員自己紹介につきまして、前回のPTA会報45号で教職員を紹介いたしました。原稿校正の不手際で浅田一裕先生が紹介できませんでした。お詫びを申し上げますとともに、あらためて紹介いたします。

# 部活動報告

## 平成18年度

### 運動部活動

#### バレーボール部

##### 中国県予選

##### 男子 予選敗退

1・2 出雲

##### 女子 予選リーグ戦

0・2 松江高専  
2・0 益田翔陽

##### 順位決定リーグ戦

2・0 江の川  
2・1 江津  
1・2 松江北  
2・0 安来  
2・0 松江農  
0・2 大東

##### 第2位 中国大会出場

##### 中国大会

0・2 銀河学院(広島)

##### 県総体

男子 1回戦 0・2 出雲  
男子 2回戦 2・1 浜田商業  
女子 2回戦 2・0 邇摩  
女子 3回戦 2・1 松江南  
女子 4回戦 2・1 松江北  
準決勝 2・0 松江北  
決勝戦 0・2 開星

##### 第2位

##### 県新人戦

##### 男子 予選グループ戦

0・2 横田

##### 敗者復活戦

##### 女子 予選グループ戦

1・2 大社  
2・0 三刀屋  
2・0 大社

##### 2ブロック リーグ戦

0・2 松江商  
0・2 松江農林  
0・2 安来

##### 県選手権

##### 男子 予選敗退

1・2 益田

##### 女子 予選グループ戦

2・0 濱田  
2・0 隠岐  
2・0 益田東  
0・2 松江市女

##### トーナメント戦

##### 中国県予選

##### 男子 1位 二次予選

83 松江高専

##### ベスト5賞

84 松江工業  
77 松江北  
84 松江北  
77 松江工業  
76 出雲北陵  
70 松本達朗

##### ベスト5賞

92 松江北  
92 松江北  
83 出雲商業  
77 出雲北陵  
77 青砥諒子

##### 中国大会

男子 2位 一回戦 98 64 県広島商(広島)

##### 女子 ベスト8

一回戦 69 宇部商(山口)  
二回戦 43 倉吉北(鳥取)

##### 県総体

男子 1位 二回戦 129 平田  
男子 二回戦 110 大東  
男子 三回戦 78 松江南  
準々決勝 68 松江高専  
準決勝 81 松江工業  
決勝 96 63 松原達也

##### 県新人戦

女子 2位 二回戦 109 三刀屋  
女子 三回戦 74 出雲  
女子 準決勝 78 松江北  
女子 決勝 67 69 出雲北陵

##### 選抜県予選

男子 ベスト8  
二回戦 88 大田  
三回戦 85 浜田商業  
準々決勝 65 75 松江南  
準々決勝 96 41 浜田  
一回戦 78 54 明誠  
準決勝 75 72 松江商業  
決勝 93 36 松江北  
ベスト5賞 秦あかね 立脇咲子

##### 全国選抜

女子 一回戦 84 101 一関学院(岩手)

##### 県新人戦

男子 1位 一回戦 89 54 平田

##### 全国選抜

男子 一回戦 89 54 平田

##### 県新人戦

男子 1位 一回戦 89 54 平田

##### 全国選抜

男子 一回戦 89 54 平田

##### 県新人戦

男子 1位 一回戦 89 54 平田

二回戦 74 松江工業

準々決勝 96 出雲

準決勝 73 出雲北陵

決勝 61 松江南

女子 2位 二回戦 87 安来

三回戦 53 明誠

67 益田産翔

65 70 松江商業

卓球部 ベスト5賞 神田菜由子

中国県予選

男子団体 一回戦 0対3 出雲西

男子ダブルス 4組参加二回戦までで敗退

男子シングルス 8名参加三回戦までで敗退

女子団体 一回戦 5位

女子ダブルス 2組参加 野津佑那・前田絵里佳組

ベスト8

女子シングルス 5名参加

県高校総体

男子団体 一回戦 3対0 情報科学

二回戦 0対3 出雲北陵

男子ダブルス 4組参加 二回戦までで敗退

男子シングルス 8名参加 三回戦までで敗退

女子団体 一回戦 3対0 浜田

三回戦 1対3 平田 (ベスト8)

女子ダブルス

2組参加 野津佑那・前田絵里佳組

女子シングルス 5名参加 野津佑那

前田絵里佳 ベスト32

ベスト32

国体県予選

男子ダブルス 3組参加 二回戦までで敗退

男子シングルス 6名参加 二回戦までで敗退

女子ダブルス 1組参加 前田絵里佳・阪本京組

女子シングルス 3名参加 前田絵里佳

高野 涼子 ベスト32

県一年生大会

男子団体 一回戦 1対3 江津工業A

男子シングルス 3名参加 三回戦までで敗退

女子団体 一回戦 3対1 矢上

二回戦 3対2 松江西

三回戦 0対3 松江商業

女子シングルス 2名参加 (ベスト4)

高野 涼子 ベスト4

坂本 京 ベスト16

県高校選手権

ジュニア男子シングルス 7名参加

ジュニア女子シングルス 3名参加

渡部 大介 ベスト64

高野 涼子 ベスト16

県新人大会

男子団体 一回戦 2対3 益田

男子ダブルス 3組参加 三回戦までで敗退

男子シングルス 6名参加 三回戦までで敗退

女子団体 一回戦 3対0 邇摩

二回戦 3対2 出雲西

三回戦 0対3 平田 (ベスト4)

女子ダブルス 1組参加 前田絵里佳・阪本京組

女子シングルス 3名参加 高野 涼子 ベスト8

テニス部 前田絵里佳 ベスト32

女子ダブルス 1組参加

前田絵里佳・阪本京組

女子シングルス 3名参加

高野 涼子 ベスト8

前田絵里佳 ベスト32

鳥根県個人選手権松江地区予選

男子 シングルス5人、ダブルス1組

地区予選突破

女子 シングルス5人、ダブルス2組

地区予選突破

鳥根県個人選手権

男子 シングルス ベスト4 林 誠

女子 シングルス ベスト16 吉岡 真里奈

(県総体出場権獲得)

ベスト16 勝本 瞳

(県総体出場権獲得)

ダブルス ベスト8 赤木・岡崎組

第44回鳥根県高等学校総合体育大会テニスの部

6/2(金)〜6/4(日)

浜山公園テニスコート

第43回鳥根県高等学校総合体育大会テニスの部

6/3(金)〜6/5(日) 松江運動公園

男子 総合 第5位

団体戦 3位

シングルス ベスト16 林誠・近藤 真

(中国大会出場)

女子 団体戦 三回戦敗退

シングルス ベスト32 長尾 香菜子

ベスト32 福原 香穂里

ベスト32

県新人戦

男子

団体戦 ベスト4

個人戦 ダブルス ベスト8 松本・岩崎組

女子

団体戦 3位

個人戦 シングルス ベスト16 糸原 陽子

ダブルス ベスト32 赤木 宏美

ダブルス ベスト16 糸原・赤木組

団体選手権

男子 ベスト8

女子 ベスト8

第5回島根県高体連学年別テニス大会

ベスト16 高梨 麻子(2年生)

ソフトテニス部

山陰選手権

女子個人 小松原一恵・深貝葵組 ベスト32

矢田真奈美・宮西恵里組 一回戦敗退

武田愛・後藤恵理子組 一回戦敗退

県総体東部地区予選

女子個人 小松原一恵・深貝葵組 三回戦敗退

矢田真奈美・宮西恵里組 ベスト32

野田麻弥・後藤恵理子組 三回戦敗退

武田愛・吉儀まなみ組 三回戦敗退

足立佳織・足立貴美組 二回戦敗退

松本遙・野津なるみ組 二回戦敗退

女子団体 一回戦 0 3 松江商業高校

県総体

女子個人 小松原一恵・深貝葵組 三回戦敗退

矢田真奈美・宮西恵里組 三回戦敗退

後藤恵理子・野田麻弥組 三回戦敗退

武田愛・吉儀まなみ組 三回戦敗退

足立佳織・足立貴美組 二回戦敗退

女子団体 一回戦 1 2 大田高校

県新人戦東部地区予選

女子個人 武田愛・吉儀まなみ組 予選通過

野田麻弥・野津なるみ組 予選通過

松本遙・加藤沙耶組 予選通過

女子団体 一回戦 1 2 松江北高校

県新人戦

女子個人 武田愛・吉儀まなみ組 二回戦敗退

野田麻弥・野津なるみ組 三回戦敗退

松本遙・加藤沙耶組 二回戦敗退

足立佳織・足立貴美組 二回戦敗退

サッカー部

中国松江地区予選

代表決定戦 2・3 松江商業

敗者復活トーナメント1回戦

県総体 2回戦 3・2 出雲工業

3回戦 4・0 江津

ベスト8 2・3 松江北

選手権松江地区予選

代表決定戦 0・4 松江商業

県選手権 敗者復活トーナメント

1回戦 1・1 松江農林(PK)

県新人戦 1回戦 2・1 浜田商業

ベスト16 0・3 松江南

バドミントン部

中国県予選

男子学校対抗戦1回戦 松江東0 3大東

女子学校対抗戦1回戦 松江東3 0松江農林

準々決勝 松江東3 1隠岐

準決勝 松江東0 3松徳学院

3位決定戦 松江東0 3松江商業

結果 第4位

女子シングルス ベスト16 山陰智香

ベスト32 竹田夏菜子

若槻みなみ

山坂友貴子

女子ダブルス ベスト16

山陰智香・竹田夏菜子組

山坂友貴子・若槻みなみ組

県総体

男子学校対抗戦1回戦 松江東0 3松江北

女子学校対抗戦1回戦 松江東3 1出雲商業

準々決勝 松江東1 3松江北

結果 ベスト8

女子シングルス ベスト16 山陰智香

竹田夏菜子

女子ダブルス ベスト16

山陰智香・竹田夏菜子組

山坂友貴子・若槻みなみ組

澤野夏美・田中志歩組

県選手権

女子シングルス ベスト32 義田彩華

女子ダブルス ベスト16

義田彩華・中谷祥子組

県新人戦

男子シングルス ベスト16 竹谷 貴裕

男子ダブルス ベスト16

竹谷貴裕・井上真一郎組

女子学校対抗戦1回戦 松江東1 3松江北

女子シングルス ベスト16 義田彩華

女子ダブルス ベスト16 中山澄香

義田彩華・中谷祥子組  
三成美穂・中山澄香組

### 陸上競技部

全山陰 女子走高跳 8位 澤 順子

県選手権 女子走高跳 8位 澤 順子

県総体 女子走高跳 決勝進出 澤 順子

男子三〇〇MSC 決勝進出 門脇鷹也

県新人戦 一年男子一〇〇M 5位 井上立也

### アーチエリート部

#### 県春季大会

少年女子シングル 1位 坂本 百合菜

2位 角谷 朝和子

3位 児玉 茉莉

少年男子ハーフラウンド 1位 白築 陽平

2位 小川 直紀

3位 福村 翔平

#### 県総体

女子団体 1位 角谷 朝和子

男子団体 2位 坂本 百合菜

女子個人 1位 坂本 百合菜

2位 坂本 百合菜

3位 佐々木菜穂

4位 高橋 由加

7位 福村 翔平

中国大会 女子団体 12位

(坂本・児玉・角谷・佐々木)

男子団体 17位

(石原・福村・小川)

女子個人 31位 坂本 百合菜

40位 児玉 茉莉

44位 角谷 朝和子

48位 佐々木菜穂

男子個人 63位 石原 祐三郎

国体県予選 少年女子

1位 坂本 百合菜

2位 佐々木菜穂

3位 角谷 朝和子

5位 福村 翔平

6位 石原 祐三郎

全国高校総体 女子団体

42位 佐々木菜穂

171位 坂本 百合菜

197位 角谷 朝和子

214位 児玉 茉莉

211位 福村 翔平

男子個人

ボート部

朝日レガッタ

女子シングルスカル(田口)

準決勝進出

県総体

男子ダブルスカル(田原・本間)

優勝

男子ダブルスカル(井川)

四位

女子ダブルスカル(田口)

優勝

女子クオドルプル

二位

全国高校総体

女子シングルスカル(田口)

二位

男子ダブルスカル(田原・本間)

準決勝進出

県新人戦

女子クオドルプル

二位

### 水泳部

男子四〇〇M自由形 2位 徳島 洋

男子一五〇〇M自由形 1位 徳島 洋

男子五〇〇M自由形 6位 天野 駿

男子一〇〇M平泳ぎ 5位 天野 駿

女子一〇〇M自由形 6位 門脇久美

女子二〇〇M自由形 6位 門脇久美

県選手権・国体予選

男子 四〇〇M自由形 1位 徳島 洋

男子一五〇〇M自由形 2位 徳島 洋

男子 五〇〇M自由形 5位 天野 駿

中国高等学校選手権兼全国高校総体中国予選

男子一五〇〇M自由形

決勝進出 9位 徳島 洋

男子高飛び込み 2位 横木 遥

男子飛び板飛び込み 1位 横木 遥

全国総体

男子飛び板飛び込み 予選17位 横木 遥

男子高飛び込み 予選17位 横木 遥

鳥根県高等学校新人戦

男子四〇〇M自由形 2位 徳島 洋

男子二〇〇M自由形 2位 徳島 洋

男子五〇〇M自由形 7位 天野 駿

国民体育大会

少年男子板飛び込み 15位 横木 遥

少年男子高飛び込み 15位 横木 遥

野球部

鳥根県高等学校春季野球大会 3 5 情報科学

第八十八回全国高等学校野球大会 3 4 益田

鳥根県高等学校秋季野球大会 4 8 浜田商業

ハンドボール部

中国県予選 四位 12・18 飯南

県総体 四位 19・24 松江工業

女子 一回戦 3・28 松江南

県新人戦 準優勝 22・21 江津

女子 一回戦 2・33 松江市女

中国新人県予選三位 16・14 松江南

柔道部

県総体

男子団体 松江東 2・3 江津

松江東 1・3 益田東

男子個人 60kg級 予選リーグ敗退

73kg級 予選リーグ敗退

73kg級 決勝トーナメント

一回戦敗退

県新人戦

男子個人 60kg級 第3位 豊島創太

66kg級 第3位 豊島隆太

県選手権

男子団体戦2回戦敗退

豊島創太「対出雲工業 5人抜き」

剣道部

中国県予選

男子団体 一回戦 シード

一回戦 対浜田 2 3で負け

女子団体 一回戦 対大東 5 0で勝ち

一回戦 対出雲商 0 2で負け

男子個人 石飛 涼介 第二位

本多 正学 第二位

釜屋 憲彦 ベスト32

中国大会出場権獲得

女子個人 上山 千佳 ベスト16

井上 春菜 ベスト16

内藤 瞳美 ベスト16

中国大会出場権獲得

男子団体 一回戦 対浜田商 4 0で勝ち

一回戦 対松江北 4 1で勝ち

一回戦 対浜田 4 1で勝ち

準決勝 対出雲西 2 1で勝ち

決勝 対大社 0 4で負け

女子団体 一回戦 対平田 2で勝ち

一回戦 対大社 1 2で負け

男子個人 六路 喬 ベスト16

石飛 涼介 ベスト32

女子個人 上山 千佳 ベスト16

内藤 瞳美 ベスト16

中国高等学校校剣道選手権大会

男子個人 石飛 涼介 初戦敗退

本多 正学 初戦敗退

釜屋 憲彦 初戦敗退

女子個人 井上 春菜 初戦敗退

上山 千佳 初戦敗退

内藤 瞳美 2回戦敗退

県選手権

男子個人 ベスト32 細田尚平

女子個人 ベスト8 内藤瞳美

男子団体(勝ち抜き戦) 一回戦 シード

一回戦 対邑智高

二回戦 負け(中堅戦)

女子団体(勝ち抜き戦) 一回戦 対平田高

負け(中堅戦)

新人戦

男子団体 ベスト16

一回戦 対浜商 4 1で勝ち

二回戦 対横田 1 4で負け

女子団体 ベスト16

一回戦 対出雲 0 3で負け

男子個人 ベスト32 森脇直哉

女子個人 ベスト16 日高巴恵

弓道部

中国大会県予選

男子団体 予選敗退(六十射二十八中)

男子個人 予選敗退

女子団体 予選敗退(六十射二十七中)

女子個人 予選敗退

県総体

男子団体 予選敗退(四十射二十一中)

男子個人 2回戦敗退

女子団体 予選7位 準決勝進出(四十射十八中)

女子個人 予選7位 準決勝進出(四十射十八中)

総合5位(四十射二十一中)

3回戦進出 小森さつき(十二射五中)

新人戦

男子団体 予選敗退

男子個人 岡 大輔 決勝進出(八射四中)

女子団体 坂本 太智 決勝進出(八射三中)

女子個人 予選敗退

予選敗退

予選敗退

## 文化部活動

県選手権  
 男子団体 予選敗退  
 男子個人 予選敗退  
 女子団体 予選敗退  
 女子個人 予選敗退

### 合唱部

NHK全国学校音楽コンクール県大会 銀賞  
 全日本合唱コンクール県大会  
 高校Aの部 金賞  
 全日本合唱コンクール中国大会  
 高校Aの部 金賞

第八回定期演奏会(プラバホール・七月八日〔土〕)  
 第一八回プラバ室内合唱コンクール  
 女声の部 混声の部  
 吹奏楽部  
 第十三回スプリングコンサート  
 (定期演奏会) 開催

五月五日(金) プラバホール  
 島根県東部地区吹奏楽祭 参加  
 六月四日(日) 島根県民会館  
 高文連東部地区音楽発表会 参加  
 七月十二日(水) プラバホール  
 全日本吹奏楽コンクール県大会 出場  
 七月三十日(日)  
 高校Aの部 銀賞  
 全国高等学校総合文化祭 器楽・管弦楽部門 出演  
 八月四日(金) 京都会館  
 第二回島根県高等学校文化フェスティバル 出演  
 十一月四日(土)

全日本アンサンブルコンテスト 県大会 出場  
 十二月十七日(日) 大田市民会館  
 高校Aの部 金賞一団体 銀賞二団体  
 高校Bの部 金賞一団体 銀賞二団体  
 弦楽部  
 全国高等学校総合文化祭参加(京都府京都市)  
 高文連東部地区音楽発表会出演(プラバホール)  
 第十一回県中・高弦楽クラブ演奏会参加  
 (プラバホール)

### 美術部

平成十八年度高校生美術作品展  
 オープニング記念演奏(県立美術館)  
 第二回弦楽部定期演奏会開催(プラバホール)  
 しまねシンフォネット高校オーケストラ  
 第七回定期演奏会参加(島根県民会館大ホール)

高文連松江地区絵画コンクール  
 6/2(金) 会場 美保関漁港周辺  
 入選 十九点  
 第二回県高校文化フェスティバルポスター  
 原画コンクール  
 入選 一〇点  
 最優秀 野津里美  
 優良 吉川千賀子・原 詩織

第39回県高校美術展  
 絵画の部 入選二二点  
 デザインの部 入選一〇点  
 全国高校総合文化祭推薦作品(平面) 野津 里美  
 同 吉川千賀子  
 演劇部  
 「In the shape of a heart-はーとのかたち」  
 岩町 暁作  
 松江地区演劇発表会 優秀賞

県高文連演劇発表会 優良賞  
 松江地区合同公演 「Girls」 岩町 暁作  
 放送部  
 第53回NHK杯全国高等学校放送コンテスト  
 テレビドラマ部門 出場

### 新聞部

県第25回新聞コンクール記事賞  
 書道部  
 高文連書道コンクール  
 特選 川角綾 増本由美 野津萌 岩崎佳介  
 後藤知里 野田美希 上野和香奈  
 秀作 中西明日奈 城市夏希  
 佳作 山名瑞穂

全国高等学校総合文化祭出品 川角綾  
 県高校書道展 奨励賞 城市夏希  
 科学部  
 世界物理年特別企画・日本物理学会主催  
 Jr.セッション研究発表会  
 「人工オーロラについて」 展示発表

県高文連自然科学部門研修会  
 物理領域の実験講座の企画・運営  
 県高文連自然科学部門研究発表会  
 「実験室で履気楼をつくる」 展示発表 優秀賞  
 JRC部  
 ケニア生活支援協力募金  
 ジャワ島中部地震被災者に対する救援金募金  
 学園祭バザー  
 高総文祭総合開会式 手話コーラス  
 年末義援金募金

# P T A 会務報告

平成十八年度 平成十八年 四月 一日から  
平成十九年三月三十一日まで

## 一、「高校生総合保障保健」

(高P連A I U 保険) 305名

## 二、第1回P T A 常任理事会 (5 / 7 本校)

1、平成17年度会務報告ならびに近況報告

2、平成17年度学校徴収金収支決算について

3、平成18年度事業計画(案)について

4、平成18年度P T A 諸会計予算(案)について

5、平成18年度P T A 関係役員候補者(案)について

6、平成18年度生徒活動後援会役員候補者(案)について

7、平成18年度P T A 総会議案等(案)について

三、第1回P T A 役員会 (5 / 13 本校)

第1回P T A 常任理事会に同じ

四、P T A 総会・生徒活動後援会・学級P T A

(3年は学年P T A) (5 / 13 本校)

(1) 授業参観

(2) P T A 総会

挨拶

報告

(ア) 学校近況報告

(イ) 平成17年度P T A 事業・会務報告

(総務主任)

議事

(ア) 平成17年度諸会計決算(事務長)

監査報告(井上監事)

(イ) 平成18年度P T A 役員選出(奥山会長)

会長……………佐々木博章

副会長……………三島 猛 櫻井誠己

山田忠男(校長)

監事……………井上孝治、野津裕子

理事……………各支部長(13名)

各学級委員(20名)

教職員(16名)

P T A 係教員(3名)

専門委員会委員

生活指導委員……………石飛 昇(長)

各地区支部長

研修委員……………野田哲也(長)、

小須賀恵美子、竹内 仁

横山淳子 各地区副支部長

広報委員……………平江国雄(長)、

野津裕子、天野礼子

進路指導委員……………多賀秀樹(長)、

三年学級委員、

一、二年学年委員長

(ウ) 新旧役員挨拶

(エ) 平成18年度新委員会の設置について

(案)(奥山会長)

(オ) 平成18年度事業計画(案)(総務主任)

(カ) 平成18年度諸会計予算(案)(事務長)

以上の議案は原案通り承認されました。

閉会の挨拶

(3) 生徒活動後援会総会

開会の挨拶

後援会会長挨拶(日高和之会長)

議事(議長:日高和之会長)

(ア) 平成17年度生徒活動後援会会計決算

(イ) 監査報告(井上監事) (事務長)

(ウ) 平成18年度生徒活動後援会役員選出

(日高和之会長)

会長……………釜屋則一

副会長……………岡 登勇、前島 繁

(エ) 新旧役員挨拶

1、日高和之会長

2、釜屋則一会長

3、釜屋則一会長より新役員紹介(副

会長・監査)

4、議長交代(釜屋則一会長)

(オ) 平成18年度生徒活動後援会会計予算

(案)(事務長)

以上の議案は原案通り承認されました。

閉会の挨拶

保護者 39名 教職員 2名

二十六、平成18年度 第3回高P連評議員会並びに安全互助会理事会(2/17)

計 41名 参加

二十七、第2回常任理事会・第3回役員会(2/17 松江東高校会議室 視聴覚教室)

(4) 1・2年学級PTA

十七、第2回高P連評議員会並びに安全互助会理事会(9/8 サンラポーむらくも)

二十八、PTA会報44号(3/3 発行 予定)

(5) 3年学年PTA

十八、進路講演会 3年生保護者対象(9/9 松江東高校視聴覚教室 約130名参加)

二十九、進路研修会 1・2年対象大学入試制度説明会(3/10 予定 松江東高校視聴覚教室)

(6) 部活動参観

十九、PTA研修旅行(10/14 備前市 閑谷学校)

七、PTA進路指導委員会(5/13本校)

二十、PTA研修会(11/18 松江東高校視聴覚室 37名参加)

三十、第47回中四国高校PTA連合会大会(7/13・14 岡山市民会館)

八、第1回県高P連評議員会・安全互助会理事会(5/20江津市総合市民センター)

三十一、第一回保護者面談(6/12・14)

三十二、県高P連・安全互助会総会(6/10 出雲市民会館)

九、第2回PTA役員会(兼 常任理事会)及び、各委員会

三十三、県高P連創立50周年記念実行委員会(6/30 サンラポーむらくも)

三十四、第56回全国高校PTA連合会大会(8/24・25 秋田市立体育館)

(研修、広報、生活指導、休業日学校開放)

三十五、平成17年度ガーデニング講習会(8/26 はなワールド)

三十六、東雲祭 文化の部(9/1・2 ガーデニング作品展示)

三島副会長 清井総務主任参加

放射性ヨウ素とヨウ素剤について、地球環境と放射線

三十七、3年保護者面談(10/24・27)

十、第47回中四国高校PTA連合会大会(7/13・14 岡山市民会館)

題名 スーパーサイエンス

三十八、県高P連中央研修会(11/26 松江市いきいきプラザ)

三十一、第一回保護者面談(6/12・14)

江東高校視聴覚教室 約130名参加

三十九、1・2年保護者面談(12/26・28)

十二、県高P連・安全互助会総会(6/10 出雲市民会館)

講師 寺井邦雄先生

四十、東雲祭 文化の部(9/1・2)

十三、県高P連創立50周年記念実行委員会(6/30 サンラポーむらくも)

(元島根県高齢者大学校講師)

四十一、ガーデニング作品展示

十四、第56回全国高校PTA連合会大会(8/24・25 秋田市立体育館)

江東高校視聴覚教室 約130名参加

四十二、東雲祭 文化の部(9/1・2)

十五、平成17年度ガーデニング講習会(8/26 はなワールド)

講師 狩野郁子先生(前島根大学教授)

四十三、東雲祭 文化の部(9/1・2)

十六、東雲祭 文化の部(9/1・2)

題名 思春期の親子の在り方

四十四、東雲祭 文化の部(9/1・2)

ガーデニング作品展示

三十四、県高P連中央研修会(11/26 松江市いきいきプラザ)

四十五、東雲祭 文化の部(9/1・2)

佐々木会長、清井総務主任参加

三十三、3年保護者面談(10/24・27)

四十六、東雲祭 文化の部(9/1・2)

佐々木会長、清井総務主任参加

三十二、県高P連中央研修会(11/26 松江市いきいきプラザ)

四十七、東雲祭 文化の部(9/1・2)

平成17年度ガーデニング講習会

三十一、鳥根教育の日(11/1・7日 島根教育ウイーク)

四十八、東雲祭 文化の部(9/1・2)

文化の部(9/1・2)

三十一、鳥根教育の日(11/1・7日 島根教育ウイーク)

四十九、東雲祭 文化の部(9/1・2)

はなワールド

三十一、鳥根教育の日(11/1・7日 島根教育ウイーク)

五十、東雲祭 文化の部(9/1・2)

はなワールド

三十一、鳥根教育の日(11/1・7日 島根教育ウイーク)

五十一、東雲祭 文化の部(9/1・2)

はなワールド

三十一、鳥根教育の日(11/1・7日 島根教育ウイーク)

五十二、東雲祭 文化の部(9/1・2)

はなワールド

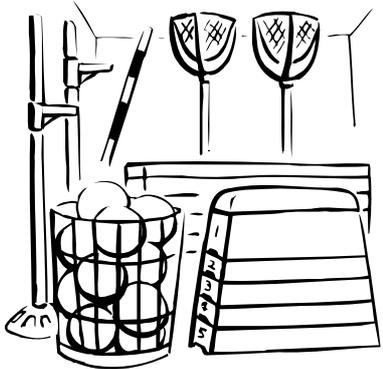
三十一、鳥根教育の日(11/1・7日 島根教育ウイーク)

五十三、東雲祭 文化の部(9/1・2)

はなワールド

三十一、鳥根教育の日(11/1・7日 島根教育ウイーク)

五十四、東雲祭 文化の部(9/1・2)



# 補習科案内

補習科は、大学進学を志しながら、志望を達成できなかった生徒諸君が、来春の合格を目指して勉強するのを一年間援助するために設置されたものです。補習科は、あくまでも援助するところであって、主体は生徒諸君です。東高生の先輩としての自覚をもち、三年次にもまして規律ある生活と強い目的意識を持つことが期待されます。

授業は演習中心に進められ、現役生と同様の科目が設定されています。

模試は、三年生と同日程で行うものの他に、本科の定期試験期間に実施するもの等があります。

講師は、校内の先生及び校外からの先生方です。補習科生のために意欲的にご指導いただきます。

補習科入試は学科試験（国語・英語・数学）と面接を行い、調査書等を加えて合格者を選考します。

出願手続きなどの詳細は、「平成十九年度松江東高等学校補習科募集要項」（二月下旬発行）をご覧ください。ご不明な点は創立記念館二階の補習科までお問い合わせください。

電話は、27-8852です。

なお、補習科入試の概略は次の通りです。

## 補習科入試

- |         |  |
|---------|--|
| 1. 募集人員 | 55名  |
| 2. 出願期間 | 未定   |
| 3. 試験日  | 3月28日（水）   |
| 4. 試験科目 | 国語 国語総合（現・古・漢）<br>英語 英語 I・II・R・W<br>数学 数学 I・II・A・B   |
| 5. 時 程  | 8:30～ 8:50 受付<br>8:50～ 9:00 諸注意<br>9:00～10:00 国語<br>10:10～11:10 英語<br>11:20～12:40 数学<br>13:30～15:30 面接 |
| 6. 試験場  | 松江東高校  |
| 7. 検定料  | 5,000円   |
| 8. 合格発表 | 3月30日（金）   |

## 編・集・後・記

P T A会報「嵩山」第46号をお届けします。

本号には、卒業生に贈る言葉を教職員の皆様からお寄せ頂いております。その中で教頭先生が、アメリカ大リーグのイチロー選手について触れておられます。イチロー選手は昨年、六年連続二百本安打を達成しましたが、その時の「こう見えても、けっこうぎりぎりのところをやっているんですよ。」という人間味のあるコメントが私には記憶に残っています。あれだけの一流選手でも常に努力を重ね、日々プレッシャーと戦っていることがこの言葉から良くわかります。卒業生の皆様も、一日一日を大切に小さな努力を積み重ね、松江東高校卒業の誇りと感謝の気持ちを忘れずに活躍されますよう心からお祈りいたします。

終わりに、この会報の発行にあたり原稿をお寄せ頂いた皆様、関係職員の皆様から御礼申し上げます。

平 江 国 雄

今年もまた出発（たびだち）の季節がやってまいりました。

三年生の皆様、ご卒業おめでとうございました。私の長男も二年前東高を巣立って行きました。その当時の事を懐かしく思います。

三年生の皆様が東高で過ごされた日々は、どんな思い出となり、今皆様の胸の中にあるのでしょうか。

これからは自分の選んだ道を、それぞれの夢や目標に向かって歩いて行かれるのでしよう。どんな道を選んで歩いて行こうとも、その道の向こうには「自分」という「敵」が居る事を忘れずにいて欲しいと思います。他人（周囲）を変えることは困難だと思えますが、自分自身を変える（変わる）事が出来るのではないかと思います。夢や目標のために自身に勝てるような、そんな人になっただきたいと思います。

最後に、本会報の発行に当たりご協力いただきました皆様にお礼を申し上げます。

天 野 礼 子

会報の発行にあたり、原稿をお寄せいただいた皆様に御礼申し上げます。

高校で過ごす3年間は、あっという間に過

ぎてしまいます。ですが、その間に学ぶことは実に沢山あり、時を経てから大きな財産となることでしょう。若い頃、特に思春期には経験不足からくる苦労や失敗の連続ですが、そういった試練を乗り越えてこそ、生きることの喜びを深く知ることができるのではないのでしょうか。とはいっても、目の前の苦難に押し潰されそうな時には、心身ともに参ってしまうのは当然のことです。そんな時、私はよく「時が解決してくれる」と心の中で繰り返し、自分に言い聞かせていたのを思い出します。あんなにつらい思いをしていたことが、時間と共にやがてほろ苦い思い出となります。苦難を恐れず、経験を積みながら、前向きに人生を歩んでほしいと思います。

野 津 裕 子







表紙の絵 杉谷俊一（本校教員）

題 字

P T A会報 森脇 哲朗（旧本校教員）

嵩山 上田久美子（十三期生保護者）